

# KOMAZAWA 3 X 4 RYUTSU KEIZAI

## 駒澤大学3×4流通経済大学ZAI



2失点目を喫しうなだれる駒大の選手たち(中央は中嶋)。▲後半69分、一度は同点に追いつくも73分の流経大ゴール(写真)が決勝点となり敗戦(撮影・野澤 俊介)



# 王者駒大、流経大に苦戦 まさかの黒星スタート...

### 敗戦の原因は気持ち

「ひとりで言う」と最悪。鈴木祐は試合後、曇った表情で開幕戦を振り返った。敗因は技術の問題じゃない。精神面での問題だったからこそ出た言葉だろう。

開幕戦の相手は今年2部から上がったばかりの流経大。とはいえ駒大は、昨年の関東選手権、インカレで流経大に苦戦を強いられている。駒大はGK牧野が開幕直前に負傷。代わりに蒲原を起用。そして昨年まで駒大の攻撃の中心を担っていた両サイド中田、橋本が抜けた穴には小林亮、中嶋が抜擢された。試合は流経大の激しい攻めでスタート。流経大の速い動き出しに戸惑う駒大に早くも悲劇が訪れてしまう。14分、流経大FKのチャンスから栗澤、船山とつなぎ、最後は中嶋が左足で押し込みネットを揺らした。駒大が昨年からの課題としてあげているのは「立ち上がり、15分での失点を防ぐ」こと。にもかかわらず早い時間帯での失点。出鼻をくじかれ動揺した駒大は「この失点で自分たちのリズムを作れなかった」(鈴木)というようにつづく19分にも失点してしまう。なんとか反撃に出ようと果敢にシュートを放っていた中嶋が実を結んだには34分。相手選手がクリアしたボールを井邑がヘディングで原へ。原はゴール前中央で待っていた中嶋にパス。それを受けた中嶋は豪快に左足を振りぬきシュート。なんとか1点を返して前半終了。

駒大の課題は後半でも浮き彫りになった。後半開始直後、またも立ち上がりでの失点。3失点目を喫した後がなくなった駒大は怒濤の反撃に出る。時間の経過とともに運動量の落ちてきた流経大相手に徐々に駒大が試合の主導権を握っていく。55分には期待のルーキー八角を投入。さらに勢いづいた駒大は60分自陣にいた中後からのロングパスをうけた原が相手ディフェンス陣をかわしゴール前に持ち込み自分